

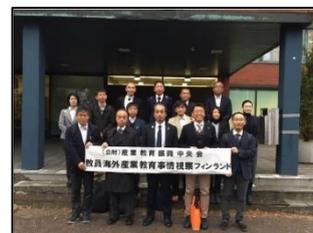
「令和元年度教員海外産業教育事情研修派遣報告」

～フィンランド教育制度の視察～

熊本県立八代農業高等学校 教諭 繁村 卓

1 はじめに

公益社団法人産業教育振興中央会主催の令和元年度「教員海外産業教育事情研修」に参加させていただき、フィンランド・ヘルシンキを訪問した。この研修は全国の産業教育を担う専門教科教員が海外研修を通して教育関係施設等の視察や研修国の社会生活に触れることにより産業教育の充実・振興、国際交流等に寄与することを目的とするものである。



2 研修日程及び概要

(1) 期日 令和元年11月24日(日)～11月30日(土)

(2) 視察団

都道府県	学校名	職名	氏名	専門
東京	都立六郷工科高等学校	統括校長	佐々木 哲	電気工学
岐阜	県立郡上高等学校	教頭	神出 建太郎	農業
愛知	県立岡崎商業高等学校	教頭	間瀬 泰宏	マーケティング
北海道	札幌工業高等学校	教諭	梶野 知己	機械
秋田	県立仁賀保高等学校	教諭	小西 一幸	情報
茨城	県立那珂湊高等学校	教諭	成富 雅人	スポーツマーケティング
静岡	県立浜松大平台高等学校	教諭	井部 雅知子	家庭
静岡	県立磐田北高等学校	教諭	鈴木 一彰	福祉
香川	県立観音寺総合高等学校	教諭	藤原 誠司	電子
長崎	市立長崎商業高等学校	教諭	福有 一步	ビジネス経済
福岡	県立八女農業高等学校	教諭	山内 亜紀	園芸・資源環境
大分	県立海洋科学高等学校	主幹教諭	堤 進	水産
熊本	県立八代農業高等学校	教諭	繁村 卓	食品製造
宮崎	県立都城商業高等学校	指導教諭	甲斐 久美子	商業
鹿児島	市立国分中央高等学校	教諭	榎木 浩一郎	バイオテクノロジー

(3) 日程

月 日	研修内容
11月24日(日)	成田空港発/ヘルシンキ空港着
11月25日(月)	ディックスルスビュー小中一貫校訪問 ヴァンター市教育委員会

1 1 月 2 6 日 (火)	ヴァリア職業学校訪問 ラウレア応用科学大学訪問 (ポリテクニク)
1 1 月 2 7 日 (水)	ハメーンリンナ応用科学大学
1 1 月 2 8 日 (木)	カレリア職業学校
1 1 月 2 9 日 (金)	自主研修/ヘルシンキ空港発
1 1 月 3 0 日 (土)	成田空港着

3 研修国の概要

(1) フィンランド共和国について

言語：フィンランド語、スウェーデン語、英語

通貨：ユーロ (€) ※現在 1€ = 120円ほど

人口：約 550万人 面積：338Km² ※日本のおよそ 9割

主産業：森林、金属、工業 ※工業国際競争力トップクラス

気候：亜寒帯温潤気候 1年を通して -8 ~ 21℃

夏 日出 4:00頃 日没 11:00 (白夜)

冬 日出 9:00頃 日没 3:00

(2) フィンランドの歴史

建国は 1917年と歴史は浅い、スウェーデンやロシアに支配されていた第二次世界大戦では枢軸国として戦争に参加し、敗戦国となる。よって公的機関の多くに核シェルターが備えられていた。

(3) 高福祉・高負担

フィンランドの標準消費税は 24%、食料品などは 14%となっている。税の国民負担率は、日本の 45%に対して 65%ほどとなっている。国家が国民の幸せに責任を持つという考えで、地位や階級、居住地に関係なく基本的な社会保障の給付とサービスを受けることができる。

(4) フィンランドの教育

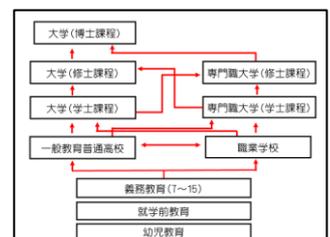
国家予算の 14%を教育費に投入している。「自己実現の社会」を掲げ教育に取り組む。国際学力比較調査「PISA」において全体的に上位の成績を収めている。

※PISAとは主に 15歳の子供を対象とした学習到達度調査である

4 視察報告 I フィンランドの教育について

(1) ディックルスビュー小中一貫校及びヴァンター市教育委員会視察

右図に示すようにフィンランドの教育は、義務教育を終えると 16歳から一般高等学校と職業学校に分かれて展開している。日本の単線型の教育体系に対し、フィンランドでは、複線型の教育体系から様々な進路選択ができるように配慮されている。



フィンランド教育体系図

フィンランドの教育機関を視察する中で、特に印象に残ったことは徹底した教育の機会均等と無償化 (国家予算の 14%を教育費に投入し、小学生に至っては教材、消しゴム、保険からすべ

て無償) を実現し、明確な教育理念で起業家の精神や個としての自立を促している点である。また、3年生で外国語を学び始めることからほとんどの生徒が英語、フィンランド語、スウェーデン語を話すことができる。

小学生は1年間で190日ほど登校し、6週間登校、1週間休という周期のスタイルになっている。学習指導要領は国から自治体に下ろし、学校現場で具体的な指導計画を作成している。評価に関して低学年は口頭で行い、5～6年になると4～10段階の評価をしている。テストだけでなく、どのように取り組んだかを評価し、自己評価とクラスメイト評価、先生の評価で総合的に結果を出している。

(2) ヴァリア職業訓練学校、職業訓練校キャリア視察
高等学校における普通高校進学率は約6割、職業専門学校への進学が4割ほどになっている。1教科30時間で1単位履修となっており、卒業単位は75～85単位となっている。

ヴァリア職業学校では「活動しながら学ぶ」を理念に約3500名の生徒が学んでいる。そのうち半数は18歳以上で入学してくる。スタッフは350名ほどおり、特別支援担当やSC、SSWの先生も配置している

企業研修を平均6カ月行い、より実践に近い教育を行っている。具体的には、価格帯を安くして美容師の経営をしたり、校内レストランの調理を行ったりするなど生徒の経営感覚も定着できる内容になっている。

職業訓練校キャリアではドイツのデュアルシステムのような体制(フィンランドではアプレンシップトレーニング)を重要視しており、企業で学びながら単位を修得するシステムを採用している。この中では、生徒も対価をもらい、企業側にとっては人材育成の大切な場にもなっている。

(3) ハメーリンナ応用科学大学

(農業系職業訓練学校・大学) 視察

ハメーリンナ応用科学大学では、農業系の職業学校と大学が併設されており、4つの学科(農業、酪農、林業、園芸)で構成されていた。自動搾乳機など最先端の技術も導入されている。

職業訓練学校では、15単位10週間で180単位の取得で卒業する。農業系の単位を30単位取得することで将来農家としてEUの補助を受けることができる。評価は、ペーパーでの評価ではなく、学生の行動を評価する。大学では、4年制で240単位の



自由な学びスタイル



お客様への実践



ショーウィンドを
用いた実践実習



搾乳の自動化システム

取得で卒業とする。45単位はインターンシップ等でより実践的な内容を学ぶカリキュラムとなっている。

日本の学びは教科書を活用した座学から実習につなげての授業スタイルになっているが、フィンランドでは検定教科書等はなく、実学中心となっており、できたら次の段階に進んでいく内容になっている。担当者の方が「学力ですべてを判断するのではなく、学力と技能を違う能力と捉えている」と話されていた点も日本との違いを感じた。一方で、改めて日本には四季折々の野菜、果樹、草花があり、恵まれた風土で幸せな国であることも実感した。



圃場は雪で真っ白

5 視察報告Ⅱ 観光・文化・食について

フィンランドは北欧ならではの魅力ある建造物や施設が建ち並んでいた。

また、治安もよく一人で早朝に散歩するなどして時間を楽しむこともできた。特にヘルシンキ大聖堂や岩をくりぬいた教会テンペリアウキオは見応えがあった。



日本のように湯船につかって疲れを取る

習慣はなく、サウナの文化が根付いている。私たちもホテル備え付けのサウナやヘルシンキ市内の老舗のサウナ施設に行き、疲れを癒やすことができた。サウナの多くにはプールが備え付けられており、男性の日と女性の日でそれぞれ活用していた。

フィンランドの食事は、消費税が高いことも有り、日本より割高である。また、主食がジャガイモやパンとなっており、時間がたてば、日本のお米が恋しくなった。



小学校の給食



トナカイのステーキ

ただ、最終日に食べた「トナカイのステーキ」は絶品であった。

ジャガイモが主食

6 おわりに

フィンランドの教育施設を視察する中で感じたことは、日本と教育環境を比較した場合にどちらが優れているかを判断することはできないということである。フィンランドにおける自由な学びのスタイルや複線型の教育体制にはとても魅力を感じた。一方で規律やルールを授業や学校生活にしっかり根付かせている日本の教育も素晴らしいと感じた。ただ、学力で判断されがちな日本の教育に対して、職業教育を大切にしている点は今後の日本の産業教育において大切な部分だと思う。

今回の研修で、教育に対してどちら国も変わらないと感じたのはやはり教師側の情熱、そして生徒を信じて育成する姿勢である。また、改めて私たちは産業教育の価値観を向上させ、学ぶ生徒たちが夢や希望を持てる魅力ある教育の展開を目指していく必要があると感じ、熊本の産業教育に活かすことができるようにし

っかり努めていきたい。

最後に、本研修の機会を与えていただきました公益財団法人産業教育振興中央会様をはじめ、推薦いただいた先生方など、多くの方々の協力があって貴重な経験ができたと感じている。研修での素晴らしい出会いを含め、感謝の気持ちをこの場で伝えさせていただき報告とさせていただきます。